

スピノエース™ フロアブル

園芸用殺虫剤

微生物がつくる、天然物由来の殺虫剤

優れた防除効果

- ・主要な果樹のアザミウマ類やチョウ目害虫などに優れた効果を示します。

収穫近くまで使える

- ・もも・すもも・りんごには収穫3日前まで、かんきつには収穫7日前まで使用可能です。

天然物由来の殺虫成分

- ・有効成分スピノサドは天然物由来。優れた効果と環境への安全性を両立しました。



果樹の害虫防除に。

●スピノエース™フロアブルの適用害虫と使用方法

※本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)(倍)	使用時期	使用方法	使用回数*
かんきつ	アザミウマ類 ミカンハモグリガ ナミアゲハ	4,000~6,000	200~700	収穫7日前まで	散布	2回以内
	ヨモギエダシヤク	4,000				
もも	ミカンキイロアザミウマ	4,000~6,000		収穫3日前まで		3回以内
	モモハモグリガ	2,000~6,000				
	シンクイムシ類	2,000~4,000				
	リンゴコカクモンハマキ	4,000				
すもも	スモモヒメシンクイ	4,000		収穫3日前まで		2回以内
ネクタリン	ミカンキイロアザミウマ	4,000~6,000		収穫3日前まで		2回以内
	モモハモグリガ	2,000~6,000				
	シンクイムシ類	2,000~4,000				
	リンゴコカクモンハマキ	4,000				
りんご	キンモンホソガ ハマキムシ類	2,000~3,000	収穫3日前まで	3回以内		
	モモシンクイガ	2,000				
さんしょう(果実)	アザミウマ類	5,000		1回		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ	2,000~4,000	200~400	摘採7日前まで	散布	2回以内
	チャハマキ ヨモギエダシヤク	4,000				
稲(箱育苗)	イネミズゾウムシ幼虫	200	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱あたり500ℓ	移植当日	灌注	1回
	イネドロオイムシ		移植3日前~ 移植当日			

かんきつ・チャノキイロアザミウマに対する効果 (2001年 静岡県柑橘試験場)

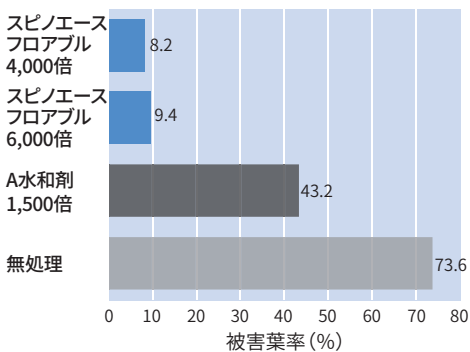
薬剤名	被害部位	被害果率(%)			被害度
		果梗部	果頂部前期	果頂部後期	
スピノエース フロアブル 6,000倍	果梗部	7.8	18.9	1.1	2.0
	果頂部前期	18.9			
	果頂部後期	1.1			0.2
Cフロアブル 4,000倍	果梗部	14.4	20.0	1.1	2.4
	果頂部前期	20.0			
	果頂部後期	1.1			0.2
無処理	果梗部		71.1	71.1	32.0
	果頂部前期				
	果頂部後期	31.1			5.2

■品種(樹齢):青島温州(25年生) ■発生状況:多発生 ■試験規模:1区18~20樹、各区3樹調査
 ■処理日・方法:6月18日7月12日、8月16日、9月13日 ※毎回ジマンダイセン水和剤(800倍)を混用
 ■調査日・方法:10月11日に1樹当たり30果を無作為に抽出 日本植物防疫協会基準に基づき調査

●試験成績

もも・モモハモグリガに対する効果

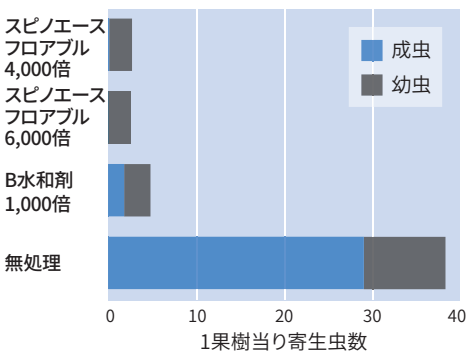
(2001年 愛媛県果樹試験場)



■品種(樹齢):缶桃(18年生) ■発生状況:多発生
 ■処理日:7月26日 ■調査日:8月9日

もも・ミカンキイロアザミウマに対する効果

(2002年 長野県果樹試験場)



■品種(樹齢):川中島白桃(成木) ■発生状況:1果実当たり10頭の雌幼虫を接種。 ■処理日・方法:8月16日果実に十分量(展着剤加用)を散布。風乾後、供試虫を接種、紙袋で覆った。 ■調査日・方法:8月23日に全果実を採集。果実の被害程度を調査。

●薬剤の調製について

薬剤を取り出す前に、容器を軽く上下に反転させて薬剤を均一な状態にしてください。激しく振ってあわ立ってしまった場合は、重量で計算してください。



(本剤の比重は約1.0なので、1gは1mlに相当します。)

ローテーション防除推奨



同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテーション(輪番)で使用することを推奨します。

⚠ 使用上の注意事項

- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて散布量を調節してください。
- 植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行ない、使い切ってください。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 蚕に長期間毒性があるので、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の事に注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園などでは、使用をさけてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。
 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は園場等に放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
 ●防除日誌を記載しましょう。

製造販売

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー

https://www.corteva.jp/



取扱

本資料は2019年9月現在の知見に基づき、作成されています。